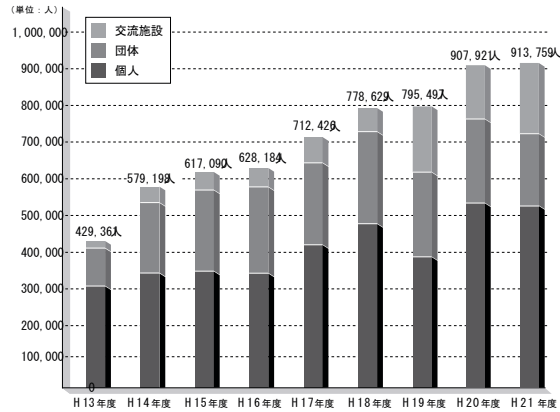


## 来館者データ

### ■ 開館時から9年間の来館者数 ■

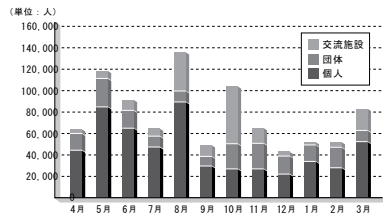
開館以来、毎年増加している来館者数を21年度も更新した。これで9年連続の来館者増となる。21年度の増加要因としては、話題性のある有料企画展を過去最高の年間5本開催したことが挙げられる。また、平行して無料企画展を開催するなど、幅広い層の関心に応える努力を行った。総じて一般の人々の興味をひくテーマ設定での企画展とイベントの開催が大きな効果を上げたといえる。



### 平成21年度

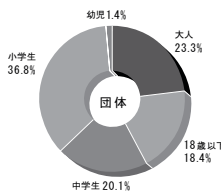
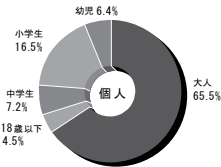
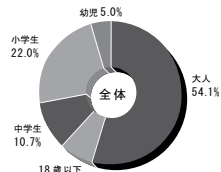
#### ■ 来館者数の内訳(月別統計) ■

4月～6月は、「タミーネーター展」おたけ屋敷で科学する！の2つの企画展を同時期に開催し、多くの方にご来館いただいた。11月には「おいく、食べるの科学展」、3月には「おたけ屋敷で科学する！」の第2弾、および「きみのみらいのきみーかさ」として新しいこころ、絵本の中への2つの企画展を開催し、来館者増となっている。



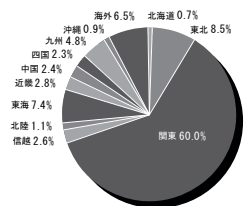
#### ■ 年代別内訳 ■

全体では約半数が大人で、続いて小学生・中学生・18歳以下(高校生含む)の順になる。団体では、修学旅行などの学校団体が多くなるため高校生以下の年代層が多く、逆に個人では高校生・中学生の来館が少なく、大人の割合が大きくなっている。



#### ■ 団体来館者における地域別統計 ■

全体の約62%が関東甲信越からの団体である。今年度は新型コロナウイルスの影響で、昨年よりも若干比率を下げた。東北、東海、近畿地域からは中学生(ただし静岡県は小学生)、九州地区からは高校生の修学旅行等での来館が主になっている。



## 広報活動実績

### ■ メディア対応件数

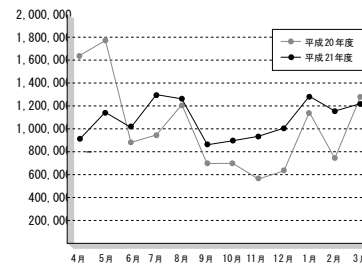
年月	媒体種類						合計
	テレビ	ラジオ	雑誌	新聞	WEB	他	
H21 / 4	33	8	61	142	19	32	295
H21 / 5	22	6	27	88	24	23	190
H21 / 6	16	6	59	130	19	17	247
H21 / 7	42	9	58	219	58	22	408
H21 / 8	19	2	51	106	8	19	205
H21 / 9	13	4	39	143	18	15	232
H21 / 10	17	1	47	114	43	24	246
H21 / 11	45	8	55	263	21	28	420
H21 / 12	17	2	35	207	12	15	288
H22 / 1	14	5	42	139	9	18	227
H22 / 2	6	6	17	72	15	14	130
H22 / 3	24	5	54	93	137	28	341
合計	268	62	545	1716	383	255	3,229

### ■ 広告換算費

年月	媒体種類			合計
	テレビ	新聞	雑誌	
H21 / 4	¥365,005,989	¥80,907,671	¥9,242,501	¥455,156,161
H21 / 5	¥1,086,289,991	¥47,513,052	¥13,379,692	¥1,147,182,735
H21 / 6	¥320,759,321	¥160,371,395	¥29,612,182	¥510,742,898
H21 / 7	¥541,066,652	¥179,739,016	¥16,100,019	¥736,905,687
H21 / 8	¥92,591,280	¥127,295,998	¥5,050,546	¥224,937,824
H21 / 9	¥70,793,998	¥68,100,119	¥11,219,798	¥150,113,915
H21 / 10	¥110,902,664	¥117,380,641	¥6,954,941	¥235,238,246
H21 / 11	¥787,563,984	¥232,617,425	¥13,236,826	¥1,033,418,235
H21 / 12	¥154,909,998	¥183,754,203	¥34,437,614	¥373,101,815
H22 / 1	¥153,633,331	¥169,020,320	¥10,817,299	¥333,470,950
H22 / 2	¥44,117,329	¥121,094,839	¥11,411,166	¥176,623,334
H22 / 3	¥258,928,702	¥66,629,396	¥6,752,420	¥332,310,518
合計	¥3,986,563,239	¥1,554,424,075	¥168,215,004	¥5,709,202,318

## 未来館 Web サイト アクセス数集計

### ■ ページアクセス数と前年度比較



平成21年度	アクセス数	平成20年度	アクセス数	前年度比較
H21 / 4	912,330	H20 / 4	1,637,543	- 725,213
H21 / 5	1,137,544	H20 / 5	1,776,498	- 638,954
H21 / 6	1,007,694	H20 / 6	870,761	136,933
H21 / 7	1,295,438	H20 / 7	913,668	381,770
H21 / 8	1,264,025	H20 / 8	1,203,324	60,701
H21 / 9	874,929	H20 / 9	734,205	140,724
H21 / 10	895,061	H20 / 10	735,418	159,643
H21 / 11	920,831	H20 / 11	557,555	363,276
H21 / 12	1,004,124	H20 / 12	616,550	387,574
H22 / 1	1,298,229	H21 / 1	1,138,525	159,704
H22 / 2	1,156,464	H21 / 2	753,070	403,394
H22 / 3	1,217,555	H21 / 3	1,281,479	- 63,924
合計	12,984,224	合計	12,218,596	765,628

## 友の会活動実績

平成21年度友の会会員数  
(平成22年3月31日現在)

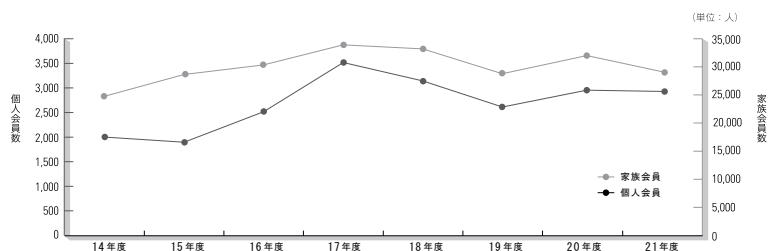
個人会員	2,964人(うち「プラス会員 個人」119人)
家族会員	家族会員 28,899人/7,095組 (うち「プラス会員 家族」1,202人)
合計	31,863人(うち「プラス会員」1,321人)

「プラス会員」とは、未来館を積極的に応援し、未来館の活動を一緒に作っていく会員の集まりとして、平成19年度に創設した会員制度

### 会員数の推移

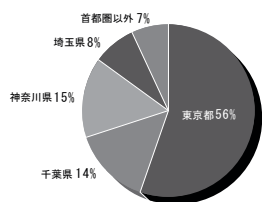
	平成21年										平成22年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
個人会員数	3,010	3,047	2,980	2,959	3,045	3,058	3,091	3,103	3,072	3,110	3,051	2,964	
家族会員数	31,660	32,136	31,141	31,259	31,980	30,375	29,885	29,734	29,217	29,690	29,097	28,899	
(家族数)	7,757	7,874	7,613	7,633	7,799	7,433	7,329	7,285	7,163	7,295	7,145	7,095	
会員総数	34,670	35,183	34,121	34,218	35,025	33,433	32,976	32,837	32,289	32,800	32,148	31,863	

### 個人・家族会員数の推移

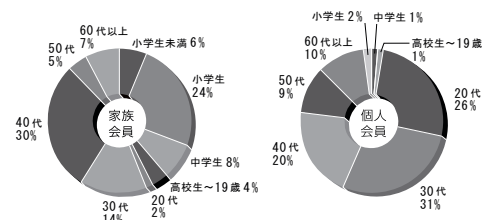


### 会員の属性

#### 都道府県別会員数



#### 年代別会員数



## スタッフの館外活動実績

### 講演・発表

講演・発表の場	発表者氏名	発表日
広島県北広島市(館長随行講演)	出井正道	H21/4/21
国立天文台企画講座「アストロノミー・バブ」	新井真由美	H21/5/16
日本地球惑星科学連合2009大会	岡山悠子、紅知子	H21/5/17
ASPAC 2009/台湾	石川泰彦、提髮玲子、黒川純美、安藤菜穂子	H21/5/27、28
ECSITE 2009/イタリア	Bloch Vincent	H21/6/4
日本ミュージアムマネージメント学会2009	池辺靖、石川泰彦、奥矢恵	H21/6/7
日本経済新聞社 天文少年AGAINセミナー	池辺靖	H21/7/7
国立新美術館×未来館「アート×サイエンスクロストーク」	森田由子	H21/7/10
トップツアー/上海哲既日食セミナー	大西将徳、代島慶一	H21/7/21
日経ナショナルジオグラフィック社 ジェノグラフィック・プロジェクト講演会&トークショー	森田由子	H21/8/5
National Science and Technology Fair 2009 (タイ科学技術フェア)	佐藤雅一	H21/8/9~17
内閣府/沖縄県那覇市アジア青年の家オープンセミナー	三ツ橋知沙	H21/8/22
日本ヒートアイランド学会	大西将徳	H21/8/23
サイエンス・サポート函館/はこだて国際科学祭	小林直樹	H21/8/31
地球流体セミナー	大西将徳	H21/9/6、7
LEGO Education Conference	佐藤雅一	H21/9/6
理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター 「おもしろい研究者創出プロジェクト」	橋本裕子、三ツ橋知沙	H21/9/13
「細胞を創る」研究会2.0	黒川純美、小林直樹、山本広美、橋本裕子	H21/10/2、3
自然科学研究機構(岡崎) 「魅力的に科学を伝えるためのABC」	橋本裕子、谷井裕美子	H21/10/6
アジアグラフ学会	近清武	H21/10/22
IEEE125周年記念講演/東京都(館長随行講演)	白井曉彦	H21/10/23
野口逴顕彰会/延岡市(館長随行講演)	紅知子、蓮沼一美	H21/10/28
世界天文年2009 グランドフィナーレ	岡山悠子、大西将徳	H21/12/5
日本分子生物学会	山口美佳	H21/12/12
SIGGRAPH ASIA 2009横浜	白井曉彦	H21/12/19
京都大学大学院理学部	高橋里美子	H22/2/2
国立天文台科学プロデューサー養成コース 第12回講座「科学文化による企業の実践」	代島慶一	H22/2/12
AAAS Annual Meeting	岡山悠子	H22/2/19、20
宇宙科学情報解析シンポジウム	三ツ橋知沙	H22/2/23
第一回リサーチーズ・カフェ	新井真由美	H22/2/27
ASPAC 2010/ニュージーランド	山口珠美、紅知子、安藤菜穂子	H22/3/22
国際惑星地球年(NYE)終了記念イベント「惑星地球フォーラム2010 in アキバ」	荻田麻子	H22/3/28

■ 執筆実績 ■

媒体名	執筆者氏名	発行日
トップツアー株式会社発行「上海皆既日食ツアー」メールマガジン	代島慶一、大西将徳	H21/4～7
東京中日新聞「わくわくサイエンスレポート」	山口美佳、貞光千春、水野社、大西将徳、風間邦彦、大畑菜摘子	H21/4～H22/3
静岡子ども科学新聞「日本科学未来館発 納得！科学ニュース」	風間邦彦、山口美佳、小沢淳、代島慶一、豊田倫子、小林直樹、戸次真一郎、寺村たから、寺田雅美、坂巻たみ、山口珠美	H21/4～H22/3
家庭フォーラム2009「食育の“自習”」	森田由子	H21/7/15
『Me+Sci』08号「宇宙を研究する」って、どういうこと？	三ツ橋知沙	H21/7/25
学校給食	萩田麻子	H21/9
『Wired』07号「プログラミング入門」（株式会社オーム社）	白井晩彦	H21/7
おいしさの科学 2009 vol101	森田由子、貞光千春、萩田麻子	H21/10/1
日本地質学会 News	櫻井英雄	H21/10/15
映像情報メディア学会誌	白井晩彦	H21/10
日本科学未来館ホームページ「おいしく、食べる」の科学展blog『FOOD, Now!』	森田由子、貞光千春、五十嵐海央、水野社、寺村たから、寺田雅美、竹下陽子	H21/10～11
朝日学生新聞社	黒川結美	H21/11/20
日本ビジネスプレス 科学の現場	森田由子	H22/1/7、1/17
日本発 21世紀型教育モデルつなぐ力が教育を変える（教育出版）	岡野麻衣子	H22/1/9
埼玉教育 コラム（けやき）	山本結美、橋本裕子、谷村優太、吉田健二	H22/1
メディカルバイオ「ライフサイエンスQ&A」	貞光千春、大畑菜摘子、山口美佳	H22/1
実験医学「News & HotPaper Digest」	桑子朋子、橋本裕子	H22/2
富山大学理学部ホームページ	野田裕美子	H22/2
科学技術教育<特集>学校と連携した博物館	谷村優太	H22/3
広報OKAZAKI	高橋里美子	H22/3

■ 外部講師等 ■

委員会名等	氏名	役職
東京大学情報学環 先端表現情報学基礎B 「科学コミュニケーションの現状、社会的背景」	山本広美 池辺泰、森田由子、渡谷知子、吉田健二、谷村優太、三ツ橋知沙、笠松舞、小林直樹、石川泰彦、水野社	非常勤講師 招聘講師 非常勤講師
はこだて未来大学 09年後期「現代の科学」	橋本裕子 大西将徳、風間邦彦、石川泰彦、貞光千春、小沢淳	非常勤講師 招聘講師
千代田区立高齢者センター 高齢者大学公開講座	佐藤雅一	招聘講師
世界天文年 2009 日本委員会	岡山悠子	企画委員
芝浦工業大学 連携大学院	石川泰彦	客員教員（准教授）
自然科学研究機構 核融合研究所	池辺靖	客員研究員（准教授）
第17回・国際学生ヴァーチャルリアリティコンテスト（MRC2009）	白井晩彦	実行委員、審査員
DCEXPO ConTEX2009 実行委員会委員	白井晩彦	実行委員
東京工業大学 バイオものづくりコンテスト2009	桑子朋子	審査員
東京工業大学 高校生バイオコンテスト	小林直樹	審査員
全国科学館連携協議会東北ブロック会議	谷村優太、谷井裕美子、田中透	招聘講師
静岡科学館る・く・る 職員ボランティア研修	谷村優太、吉田健二	招聘講師
地質の日事業推進委員会	新井真由美	事業推進委員
生働学会	新井真由美	理事、広報委員、大会委員、次世代科学社会活性化委員
日本地球惑星科学連合	新井真由美	男女共同参画委員、教育問題検討委員
日本宇宙生物科学会	新井真由美	会計監査
早稲田大学 理工学研究所	大嶋章弘	客員研究員
ヒューマンインタフェース学会	大嶋章弘	電子広報委員
江戸川総合人生大学	提髪玲子	講師
第21回新エネ・太陽電池コンクール三次審査	風間邦彦	審査員
放送大学 総合科目「サイエンスをいかに伝えるか」	橋本裕子	面接授業講師
放送大学テレビ授業番組「太陽系の科学」	岡山悠子	アシスタント
放送大学テレビ授業番組「地球のダイナミクス」	中川映理	アシスタント
目白大学人間学部児童教育学科 フレッシュマンセミナー	代島慶一、五十嵐海央	自然観察プログラム講師

■ 館長 毛利衛の講演・発表 ■

会議名・講演会名	開催地	講演年月日
松下政経塾勉強会	六本木和幸ビル	H21/4/9
講演会（北広島町）	北広島町千代田運動公園総合体育館アリーナ	H21/4/21
国立極地研究所立川移転記念講演会	立川市市民会館大ホール	H21/5/2
台湾国内の11大学をテレビで結んでの講演	国立中央大学講堂	H21/5/27
“ロボット製作を通じたものづくり教育を考える”シンポジウム（芝浦工業大学）	みらいCAN ホール	H21/6/27
Miraikanフォーラム2009	みらいCAN ホール	H21/7/15
「アジア青年の家2009」オープンセミナー	沖縄県男女共同参画センター「ていりる」	H21/8/22
中国科学技術館開館記念行事	中国科学技術館新館	H21/9/16
広東科学館開館1周年記念行事	広東科学技術センター	H21/9/19
IEEE 125周年記念講演	大手町レベル21	H21/10/23
15th Microoptics Conference Session E/Opening Address（応用物理学会）	みらいCAN ホール	H21/10/26
講演会（野口顕彰会）	延岡総合文化ホール	H21/10/28
第12回日本・スベインシンポジウム Session 2「科学技術」	国際文化会館講堂	H21/11/6
外務省広報文化交流部事業	ナショナルホテル（ハバナ）、ペルー日系人協会、国立サンティアゴ大学プラネタリウム	H22/1/6、1/11、1/13
外務省広報文化交流部事業	ハバナ大学、ペルー半田庁、国立チリ大学付属天文台	H22/1/7、1/11、1/13
在リマ日本人学校特別授業	在リマ日本人学校	H22/1/9
外務省広報文化交流部事業	ALM A 計画山麓施設内コンフェレンス・ルーム	H22/1/15
日本学術会議サイエンスカフェ	文科省情報ひろば	H22/2/26
サイエンスカフェ（財団法人神奈川科学技術アカデミーサイエンスパーク）	かながわサイエンスパーク KSP ホール	H22/3/9
ASPAC 2010 President's Opening Remarks	オタゴ博物館（ニュージーランド）	H22/3/21

## 平成21年度に関わった主な研究者・技術者・研究機関 (順不同・敬称略)

### 常設展示

岩田洋夫 (筑波大学)  
クワクボリョウタ  
安藤英由樹 (大阪大学)  
渡邊淳司 (日本学術振興会)  
福見昌彦 (慶應義塾大学)  
須田年生 (慶應義塾大学)  
山中伸弥 (京都大学)  
石井哲也 (京都大学)

### 企画展

伊福部達 (東京大学)  
高橋康介 (東京大学)  
松木則夫 (東京大学)  
渡邊克巳 (東京大学)  
柿木隆介 (生理学研究所)  
喜田聡 (東京農業大学)  
小早川高 (大阪バイオサイエンス研究所)  
小早川令子 (大阪バイオサイエンス研究所)  
西条寿夫 (富山大学)  
松岡豊 (国立病院機構災害医療センター)  
宮川剛 (藤田保健衛生大学)  
長澤夏子 (早稲田大学)  
旭化成株式会社  
旭化成バックス株式会社  
株式会社味香り戦略研究所  
味の素株式会社  
阿部啓子 (東京大学)  
アメリカ航空宇宙局 (NASA)  
市川陽子 (静岡県立大学)  
イワサキ・ピーアイ  
株式会社インテリジェントセンサーテクノロジー  
宇宙航空研究開発機構  
NPO 法人うま味インフォメーションセンター  
大塚食品株式会社  
カゴメ株式会社  
亀田製菓株式会社  
木苗直秀 (静岡県立大学)  
九州食品工場リサイクル事業協同組合  
キュービー株式会社  
キリンビバレッジ株式会社  
麒麟麦酒株式会社  
キリンホールディングス株式会社  
相良泰行 (食感性コミュニケーションズ)  
佐藤清隆 (広島大学)  
株式会社サタケ  
株式会社サミー  
サン・プラント工業株式会社  
篠原信 (農研機構野菜茶業研究所)  
白井篤人 (九州工業大学)  
新エネルギー・産業技術総合開発機構  
新日鉄エンジニアリング株式会社  
セカンドハーベスト・ジャパン  
株式会社セブン&アイ・ホールディングス  
高井皓 (社団法人日本冷凍空調学会)  
高砂香料工業株式会社

高橋久仁子 (群馬大学)  
株式会社玉シロー  
坪野吉孝 (東北大学)  
テラダ・レーディング株式会社  
東洋製罐株式会社  
都甲潔 (九州大学)  
株式会社ドリマックス  
中野長久 (大阪女子短期大学)

株式会社ナベル  
ニコロ株式会社  
日清食品ホールディングス株式会社  
社団法人日本食品機械工業会  
日本食品添加物協会  
日本マクドナルド株式会社  
農業生物資源研究所  
農業生物資源研究所ジーンバンク  
農研機構食品総合研究所  
農研機構動物衛生研究所ブリオノ病研究センター  
農林水産先端技術産業振興センター  
株式会社フェアリーエンジェル  
伏木亨 (京都大学)  
株式会社前川製作所  
株式会社マスタック  
明治製菓株式会社  
山田静雄 (静岡県立大学)  
山本隆 (畿央大学)  
株式会社ユーグレナ  
株式会社ユニフォトプレスインターナショナル  
吉泉産業株式会社  
レオン自動車株式会社

かこさとし (加吉総合研究所)  
小林憲正 (横浜国立大学)  
鈴木健 (株式会社サルガッソー)  
中村哲 (情報通信研究機構)  
難波啓一 (大阪大学)  
ヘンシュ貴雄 (理化学研究所)  
井田茂 (東京工業大学)  
佐倉統 (東京大学)  
田近英一 (東京大学)  
定藤規弘 (生理学研究所)  
田村元秀 (国立天文台)  
鍋倉淳一 (生理学研究所)  
山懸然太郎 (山梨大学)  
伊福部達 (東京大学)  
荻野剛 (生理学研究所)  
柿木隆介 (生理学研究所)

### 実験工房

白川英樹 (筑波大学)  
野村泰明 (埼玉大学)  
池田伸一 (産業技術総合研究所)

### トークセッション、イベントなど

中塚俊之 (北海道大学)  
廣瀬史子 (宇宙航空研究開発機構)  
根本香絵 (国立情報学研究所)

亙慎一 (情報通信研究機構)  
酒井敏氏 (京都大学)  
中村泰 (宇宙航空研究開発機構)  
亀山康子 (国立環境研究所)  
菅野勇樹 (東京大学)  
石谷治氏 (東京工業大学)  
榊裕之氏 (豊田工業大学・東京大学)  
谷口義明 (愛媛大学)  
宇都宮仁 (酒類総合研究所)  
金田弘幸 (サッポロホールディングス株式会社)  
神山かおる (農業・食品産業技術総合研究機構)  
柴田一成 (京都大学)  
角田暁治 (京都工芸繊維大学)  
西村雅信 (京都工芸繊維大学)  
山路克彦 (積水インテグレートリサーチ)  
鍋倉淳一 (生理学研究所)  
上野直人 (基礎生物学研究所)  
加藤晃一 (分子科学研究所)  
鯉田孝和 (生理学研究所)  
瀬尾拓史 (東京大学)  
矢尾育子 (関西医科大学)  
岩崎秀雄 (早稲田大学)  
国立極地研究所  
国立天文台  
国立情報学研究所  
芝浦工業大学  
千葉工業大学  
理化学研究所  
産業技術総合研究所

### 人材育成

大島まり (東京大学)  
堀口逸子 (順天堂大学)  
田村慎一 (国立感染症研究所)  
千葉和義 (お茶の水女子大学)  
島田悟 (産業技術総合研究所)  
並木美砂子 (千葉市動物公園)  
幸田尚 (東京医科歯科大学)  
五十嵐健夫 (東大大学院)  
山縣然太郎 (山梨大学)  
François Toumihac (Ecole Supérieure de Physique et Chimie Industrielles)  
吉田賢右 (京都産業大学)  
亀山康子 (国立環境研究所)  
田中拓男 (理化学研究所)  
中本映子 (株式会社リコー)  
菅野勇樹 (東京大学)  
角康之 (京都大学)  
北原和夫 (国際基督教大学)  
木賀大介 (東京工業大学)  
杉山滋郎 (北海道大学)  
田中幹人 (早稲田大学)

## 主な視察者

来館月日  
4/12  
4/12  
4/30  
5/7  
5/10  
5/14  
5/24  
6/10  
6/17  
6/17  
7/26  
7/31  
8/2  
8/4  
8/18  
9/12  
9/28  
10/1  
10/1  
10/5  
10/8  
10/8  
10/9  
10/21  
11/4  
11/6  
11/8  
11/20  
11/21  
12/6  
12/12  
視察者  
アメリカ合衆国  
宇宙飛行士 トレーシー・カードウェル、スコット・クリュー、ダグラス・ウィロック  
セルビア共和国  
副首相兼科学技術発展担当大臣 ボジダル・ジェリッチ  
台湾  
台北駐日経済文化代表処代表 馮寄台  
カナダ  
駐日大使 ジョナサン・フリード  
スイス  
スイス連邦工科大学チューリッヒ校学長 ラルフ・アイヒラー  
中華人民共和国  
国際交流協会常務副会長 李成仁  
大韓民国  
教育科学技術部長官 安秉薫  
ニュージーランド  
オタゴ博物館館長 シムラズ・ポール  
中華人民共和国  
中共中央党校教育長兼副校長 郝時普  
大韓民国  
教育科学技術部次官 キム・ジュンヒョン  
内閣府特命担当大臣(科学技術政策) 野田聖子  
科学科学副大臣 山内俊夫  
モロッコ王国  
駐日大使夫人 アルル・唱子  
エジプト・アラブ共和国  
駐日大使 ワリド・マハムード・アブデルナーセル  
台湾  
虎尾科学技術大学学長 林振徳  
英国  
国防省科学技術局長 ボール・スタイン  
バングラデシュ人民共和国  
バングラデシュ科学アカデミー会長モハメド・シャムシャー・アリ  
新潟県知事 泉田裕彦  
オーストリア共和国  
大統領夫人 マルギット・フィッシャー  
外務省 ASEAN 担当兼科学技術協力担当特命全權大使  
廣取克章  
スイス  
経済省対外経済通商条約担当大使 モニカ・リュールブーチ  
中華人民共和国  
上海交通大学総書記 馬德秀  
ニカラガ共和国  
副大統領 ハイメ モラレス・カラソ  
環境顧問担当大臣 ハイメ インセル・バルケロ  
ザンビア共和国  
ザンビア産業科学研究所エグゼクティブディレクター  
ムワンヤンダム・グクシタ・レウニカ  
アイスランド共和国  
アイスランド大学学長 クリスティン・インゴルフスドッティル  
中華人民共和国  
福建省科学技術協会副主席 柯少愚  
スペイン王国  
「第12回日本・スペイン・シンポジウム」参加者一行  
文部科学副大臣 中川正春  
高円宮妃殿下  
中華人民共和国  
貴州省科学技術協会副主席 フ・ジュン・ウェイ  
キューバ共和国  
外務大臣 ブルノ・ロドリゲス・バリージャ  
タイ王国  
元副首相・教育大臣 チャットゥロン・チャイセーン

12/14  
12/27  
1/13  
1/14  
2/14  
2/26  
3/5  
3/8  
3/24  
3/27  
3/29  
ウルグアイ東方共和国  
大統領夫人 マリア・アウキシリア・ド・ラ・デル・ガード・デ・バスケ  
外務大臣 ベドロ・バスラメラ  
駐日大使 アナ・マリア・エステベス  
大韓民国  
国立東川科学館館長 李祥義  
英国  
影の外務閣外大臣 デービッド・リディントン  
カナダ  
連邦政府外務・国際貿易省アジア・アフリカ担当次官補/生業商務官  
ケン・サンクイスト  
駐日大使 ジョナサン・フリード  
アメリカ合衆国  
宇宙飛行士 マイケル・バラット  
ロシア  
宇宙飛行士 ゲンナジー・パダルカ、ロマン・ロマネンコ  
ベルギー王国  
宇宙飛行士 フランク・ディビュナー  
カナダ  
宇宙飛行士 ロバート・サースク  
イラン・イスラム共和国  
国会議員 ソーレ・エラヒアン、セイ・エド・アフマド・ロトフィ  
アシュティアーニー、アブドルホセイン・ナーセリー  
駐日公使 マンスーレ・ジャリフィ  
大韓民国  
科学技術政策研究院院長 スンテョル・チョン  
アメリカ合衆国  
デュック大学教授 アシッシュ・アローラ  
オランダ王国  
国連大学MERJ「シニアリサーチャー アンソニー・アルンデル  
ニカラガ共和国  
駐日大使 サウル・アラナ・カステジョン  
大韓民国  
国会議員 ハク・ヨンア  
環境大臣 小沢毅仁  
コロンビア共和国  
駐日大使 バトリシア・カルデナス・サントマリア

## 組織

運営アドバイザー

沖村憲樹

館長

毛利 衛

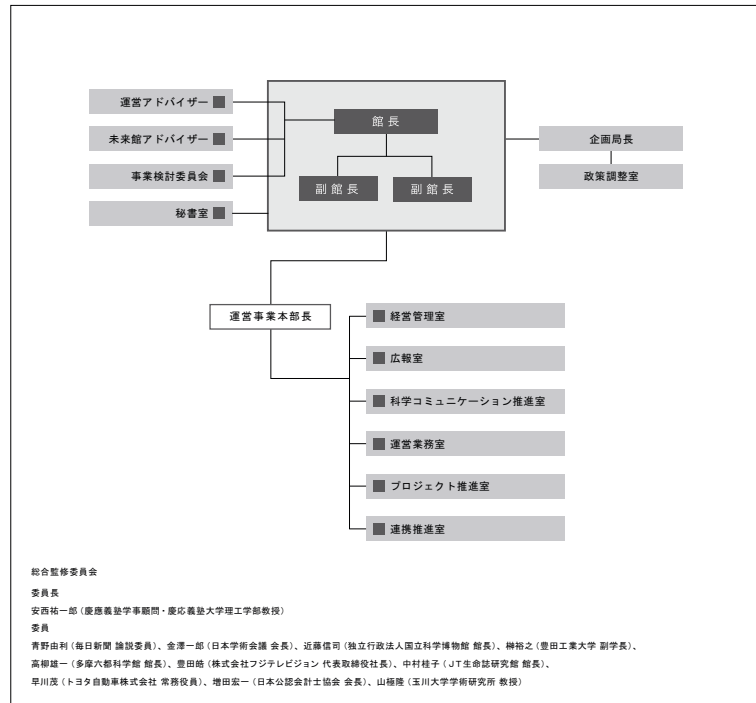
副館長

中島義和 小中元秀

## 組織体制

平成21年11月13日に開催された、行政刷新会議「事業仕分け」の評決結果(※)を実現するため、独立行政法人科学技術振興機構(JST)と財団法人科学技術広報財団が合意の上、科学技術広報財団への委託を終了させ、平成22年度中にJST直執行とし、これに併せて、業務を効率化する予定である。この見直しにより、館長毛利衛の強力なリーダーシップによる直接指揮の下で、未来館運営業務を展開していく。

※事業仕分け評決結果  
【事業仕分け評価結果】予算要求の削減  
【とりまとめコメント】科学未来館については、予算削減というが8名、来年度の予算計上は見送りという方が1人、いずれも科学技術広報財団を見直すという意見であった。チームとしては、予算削減ということでまとめたい。  
注)現在、日本科学未来館の運営は、科学技術広報財団への業務委託により行われており、JSTと科学技術広報財団の間においては、平成23年度までの複数年度委託契約が結ばれている。



## 沿革

平成7年度	平成7年11月 科学技術基本法が成立	科学技術創造国を目指すことを目的とした科学技術基本法が成立した。
平成8年度	平成8年7月 科学技術基本計画が策定	同法の成立を受け、科学技術の振興に関する総合的・計画的な施策を推進するための科学技術基本計画が策定された。魅力ある科学館等の整備とそのネットワークの強化、研究開発成果の公開、科学技術に関する社会の関心を高めるための議論の場の設定等が盛り込まれた。
平成10年度	平成10年12月 「国際研究交流大学村」の建設が決定	文部省、通商産業省、科学技術庁の3省庁(*1)が合同で、東京臨海副都心地区に「国際研究交流大学村」を建設することが決定。科学技術振興事業団(*2)は、最先端の科学技術の展示、展示方法の開発、研究者の交流等を通じて、科学技術の情報を発信していく施設を整備することとなった。 *1:平成13年1月 省庁再編成により文部科学省、経済産業省の2省となる。 *2:平成15年10月 独立行政法人科学技術振興機構となる。以下同じ。
平成11年度	平成12年3月 展示計画・活動方針の検討、館の整備が進行。	科学技術振興事業団は、日本科学未来館のあり方等についての審議を行うため、理解増進新規事業推進室、総合監修委員会を設置し、展示計画、活動方針などについて具体的な検討を重ね、それをもとに館の整備が進められた。
平成12年度	平成12年9月 正式名称を「日本科学未来館」に決定	施設の基本理念を簡潔に表現しているとして、施設の名称を「日本科学未来館」に決定し、公表した。また、総館長に吉川弘之(東京大学名誉教授)、館長に毛利衛(宇宙飛行士)の就任を決定した。
平成13年度	平成13年6月 展示物第1期工事完成 平成13年7月9日 日本科学未来館が開館 平成14年3月 展示物拡充工事完成	展示の分野ごとに、専門的見地から内容を監修してもらうため、第一線の研究者を科学技術アドバイザーに委嘱し、推進していた展示物等の整備が完了した。 二足歩行ロボットASIMOの展示・実演、「生命の科学と人間」コーナーの改装、防災科学技術研究所のHi-Netからのリアルタイム地震データを利用した展示、スーパーカミオカンデの1/10スケールモデル等の展示物拡充が完了した。
平成14年度	平成14年10月 展示物拡充工事完成	「地球生命と宇宙、40億年の挑戦」(国際宇宙ステーション)の展示が完成した。
平成15年度	平成16年3月 プラネタリウム「MEGASTAR-II cosmos」の導入 平成16年度 「時間旅行」展巡回	オリジナルコンテンツ「新しい眺め」を開発し、ドームシアターガイアのコンテンツとして常設化した。 初の海外巡回。内容をバイリンガル化し、海外(中国、メキシコ)で開催した。
平成16年度	平成16年7月 日本科学未来館3周年記念式典・名誉館員顕彰制度 平成17年1月 ロゴマークの変更	日本科学未来館の開館3周年を記念して「3周年記念式典」を開催した。また、科学技術に対して顕著な貢献をし、かつ日本科学未来館の事業に貢献した研究者を顕彰する「名誉館員顕彰制度」を設立し、ノーベル賞受賞者白川氏、小柴氏らが出席する顕彰式を行った。 日本科学未来館のロゴマークを「MeSci」から「Miraikan」に変更した。
平成17年度	平成17年4月 ブランドプロジェクト開始 平成18年3月 スローガンの制定	未来館独自の価値や将来にわたる約束を明文化し、未来館ブランドを構築するためのプロジェクトを開始した。 未来館の姿勢を表すスローガン「科学がわかる 世界がかわる」を制定した。
平成18年度	平成18年10月 オフィシャルパートナー第一号が決定 公募により副館長就任 平成19年3月 1階「企画展示ゾーン」改修工事完了	企画展イベントのスペースとして用いていた「催事ゾーン」(約800㎡)を拡張し、「企画展示ゾーン」(約1,520㎡)を設置した。
平成19年度	平成19年4月 民間委託の拡大による運営体制に移行	
平成20年度	平成20年4月～21年3月 常設展示の大規模改修 平成21年1月 「Atmos」の導入	メディアラボ、国際宇宙ステーション、地球環境、技術革新と未来の各ゾーンを改修。
平成21年度	平成21年11月 行政刷新会議「事業仕分け」	行政刷新会議「事業仕分け」を踏まえた運営体制の見直しが決定。